

# 令和4年度ふくしま学力調査結果について

郡山市教育委員会

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

児童生徒一人一人の学力の伸びや学習等に対する意識、生活の状況等を把握する調査を実施し、教育及び教育施策等の成果と課題を検証するとともに、その改善を図るための方策を構築し、一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

### (2) 調査内容

#### ① 児童生徒に対する調査

##### a. 教科に関する調査

○ 小学校・義務教育学校前期課程：国語、算数

○ 中学校・義務教育学校後期課程：国語、数学

##### b. 質問紙調査

○ 学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

#### ② 学校質問紙調査（Web システムより回答）

学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

### (3) 調査対象

① 小学校・義務教育学校前期課程 51 校 第4学年～第6学年（児童7,537名）

② 中学校・義務教育学校後期課程 27 校 第1・2学年、第7・8学年（生徒5,051名）

## 2 調査結果の公表

### (1) 各教科における平均正答率と学力のレベル

### (2) 各教科における令和3年度調査から学力が伸びた児童生徒の割合

### (3) 児童生徒質問紙調査の回答と学力階層との相関関係

#### 【学力のレベルについて】

様々な難易度の問題を出題し、それに対する正答や誤答の状況を見ることで、学力を判断している。学力は、レベル1からレベル12までのレベルで表されている。各学年の測定は、小学4年生であれば、レベル1からレベル7のように7レベルの間で行っている。また、それぞれのレベルは、さらに細かく3層（高い順にA→B→C）に分かれており、同じレベルの中でもスモールステップで「学力の伸び」が分かるようになっている。児童生徒には、学力のレベルはこの小さな層で分けた1-Cから12-Aまでの36段階で提示される。

#### 【学力のレベル一覧】

		小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
高 ↑ 学 力 ↓ 低	レベル12						A B C
	レベル11					A B C	A B C
	レベル10				A B C	A B C	A B C
	レベル9			A B C	A B C	A B C	A B C
	レベル8		A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	レベル7	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	レベル6	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	レベル5	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	
	レベル4	A B C	A B C	A B C	A B C		
	レベル3	A B C	A B C	A B C			
	レベル2	A B C	A B C				
	レベル1	A B C					

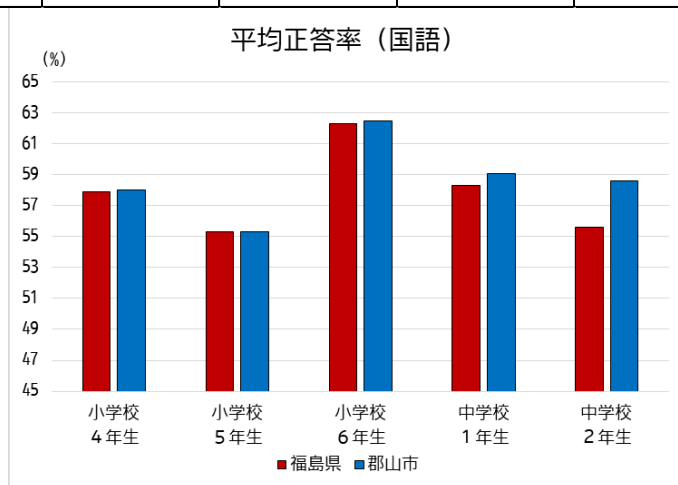
※ 福島県は中学3年生の実施なし

### 3 調査結果

#### (1) 各教科における平均正答率と学力のレベル

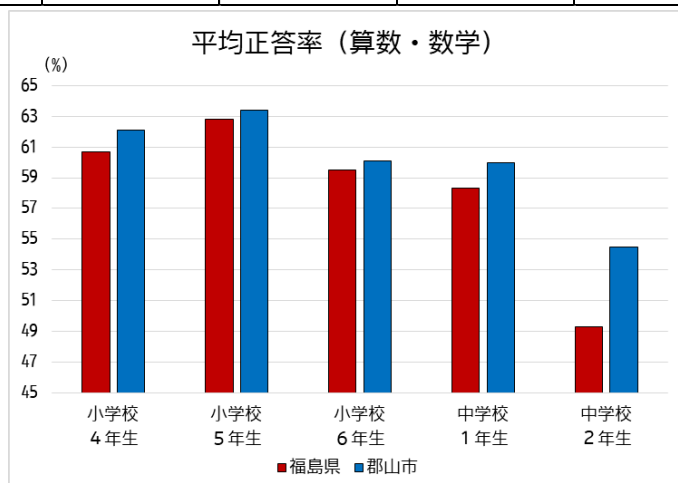
##### 【国語】

国語		小学校 4年生	小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生
福島県	平均正答率	57.9%	55.3%	62.3%	58.3%	55.6%
	学力のレベル	5-A	6-A	7-B	8-C	8-B
郡山市	平均正答率	58.0%	55.3%	62.5%	59.1%	58.6%
	学力のレベル	5-A	6-A	7-B	8-C	8-A
平均正答率の比較 (郡山市－福島県の値)		0.1	0.0	0.2	0.8	3.0



##### 【算数・数学】

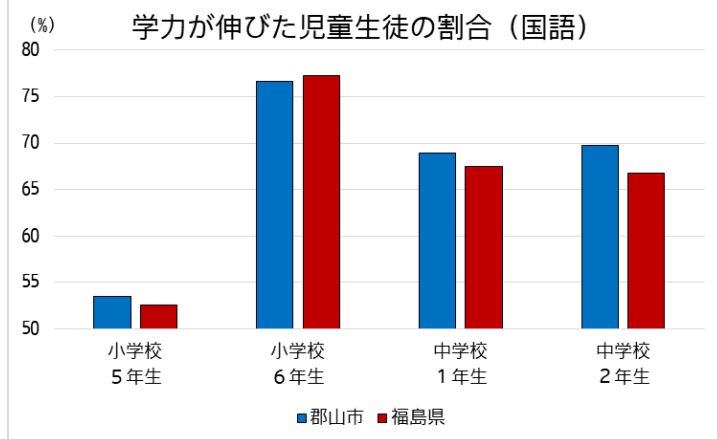
算数・数学		小学校 4年生	小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生
福島県	平均正答率	60.7%	62.8%	59.5%	58.3%	49.3%
	学力のレベル	5-B	6-C	7-C	7-A	7-A
郡山市	平均正答率	62.1%	63.4%	60.1%	60.0%	54.5%
	学力のレベル	5-B	6-C	7-C	7-A	8-B
平均正答率の比較 (郡山市－福島県の値)		1.4	0.6	0.6	1.7	5.2



(2) 各教科における令和3年度調査から学力が伸びた児童生徒の割合

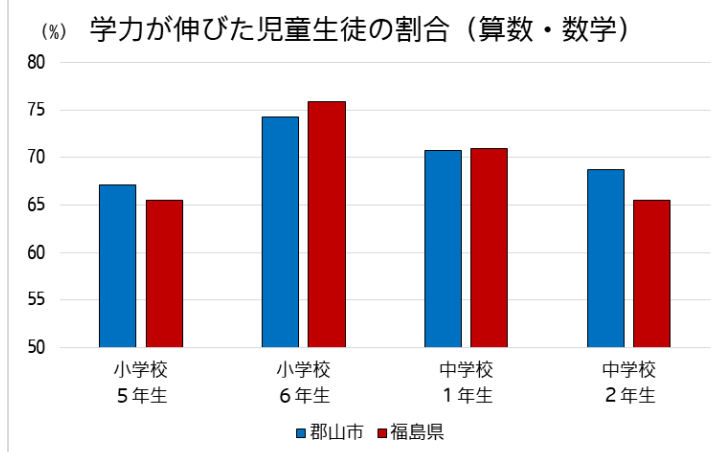
【国語】

国語	小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生
■ 郡山市	53.5%	76.6%	68.9%	69.7%
■ 福島県	52.5%	77.3%	67.5%	66.8%
県との比較 (郡山市-福島県の値)	1.0	-0.7	1.4	2.9



【算数・数学】

算数・数学	小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生
■ 郡山市	67.1%	74.3%	70.8%	68.7%
■ 福島県	65.5%	75.9%	71.0%	65.5%
県との比較 (郡山市-福島県の値)	1.6	-1.6	-0.2	3.2



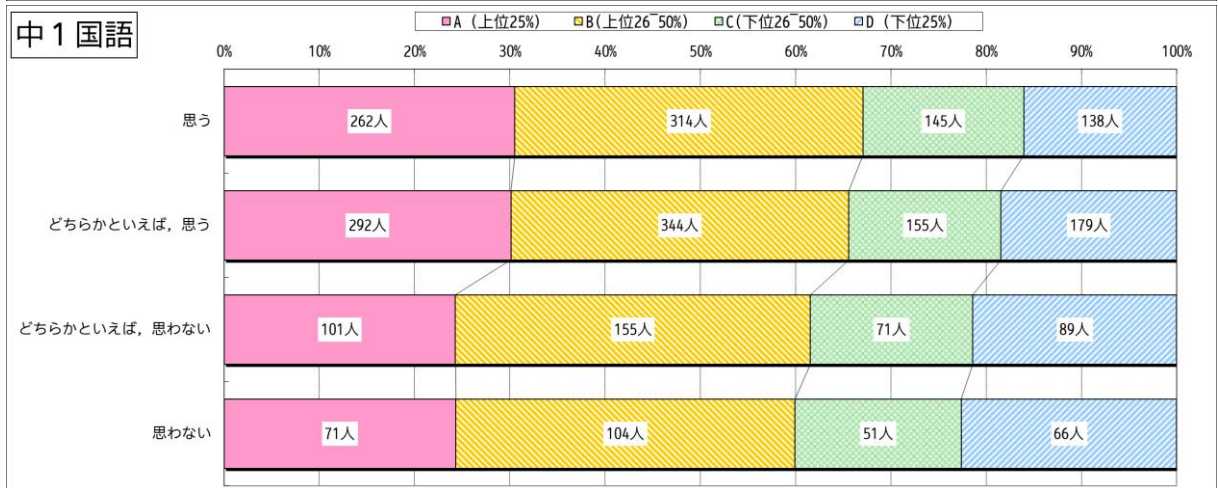
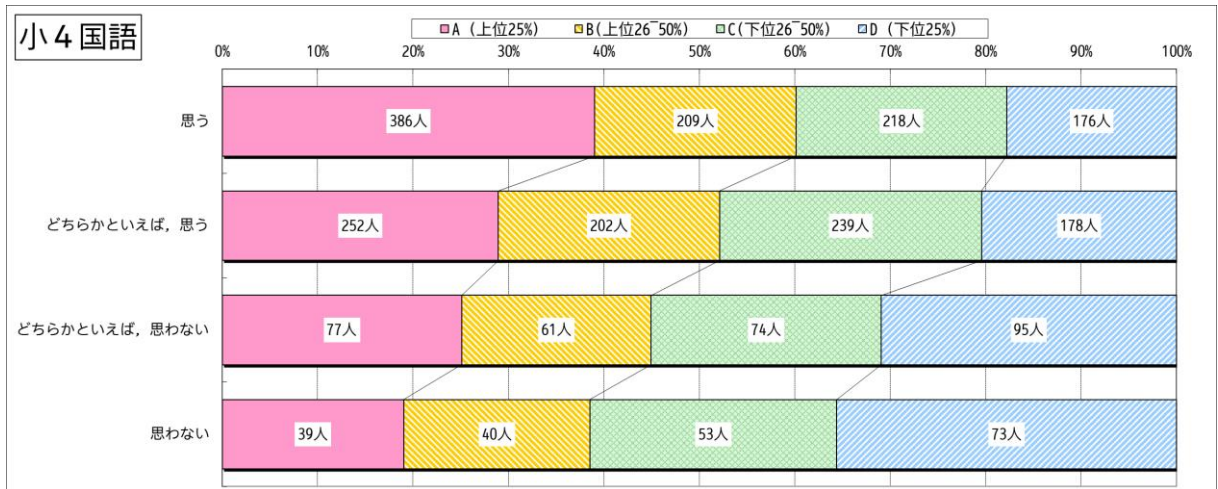
◎ 「学力が伸びた児童生徒」の算出について

1. 集計対象となる児童生徒の「学力のレベル」を数値化（「1-C」は「1」～「12-A」は「36」）し、前年度との差を計算している。
2. 令和4年度の学力レベルの数値が、昨年より1以上増加している児童生徒を「学力を伸ばした児童生徒」として算出している。

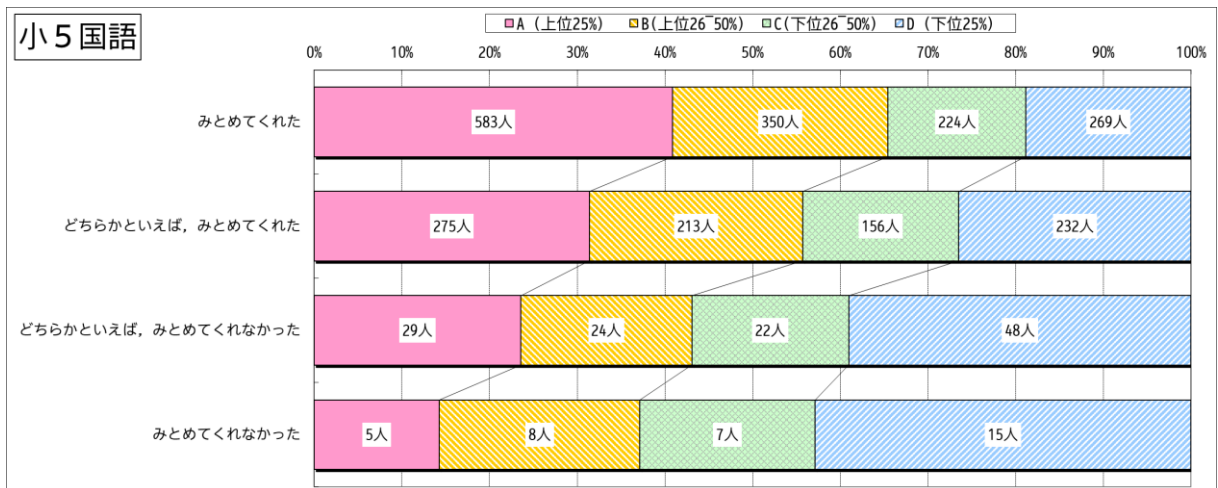
(3) 児童生徒質問紙調査の回答と学力階層との相関関係

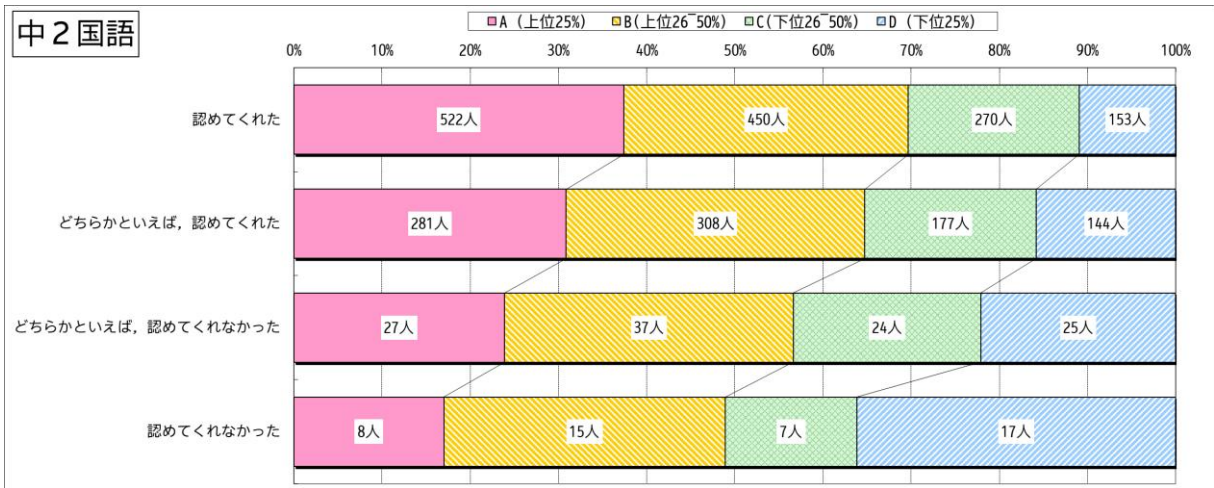
※ グラフは、顕著な結果が見られた学年と教科のものを例示した。

① 「【問】 自分には、よいところがあると思いますか」とのクロス集計



② 「【問】 学校の先生たちは自分のよいところをみつめてくれましたか」とのクロス集計



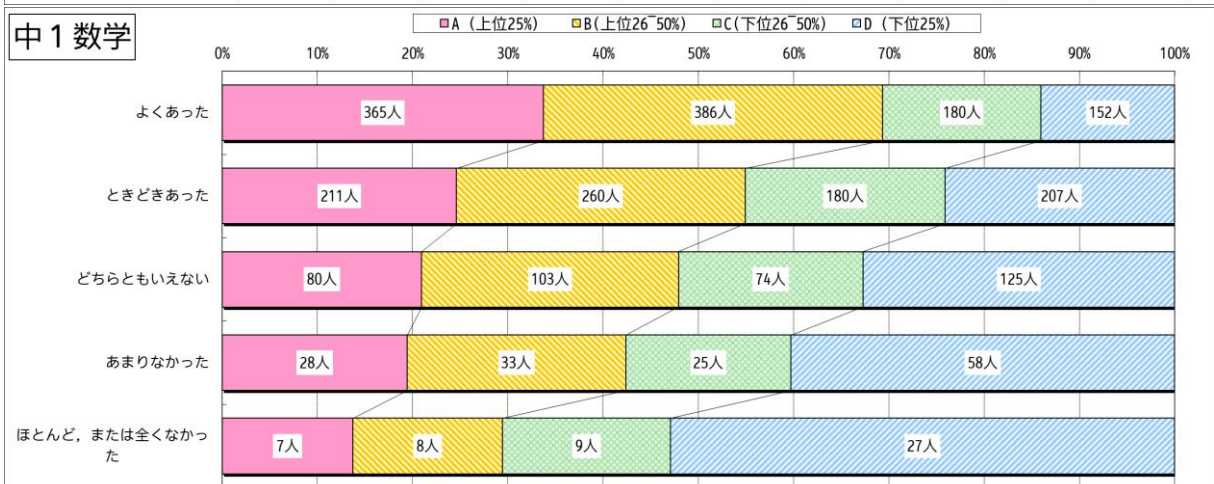
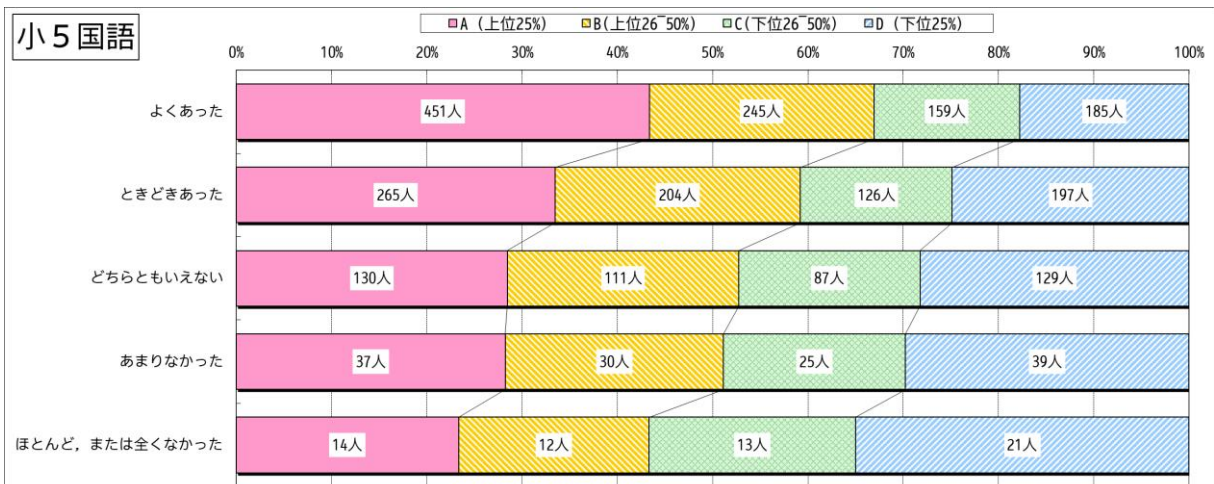


**【授業等改善のポイント】**

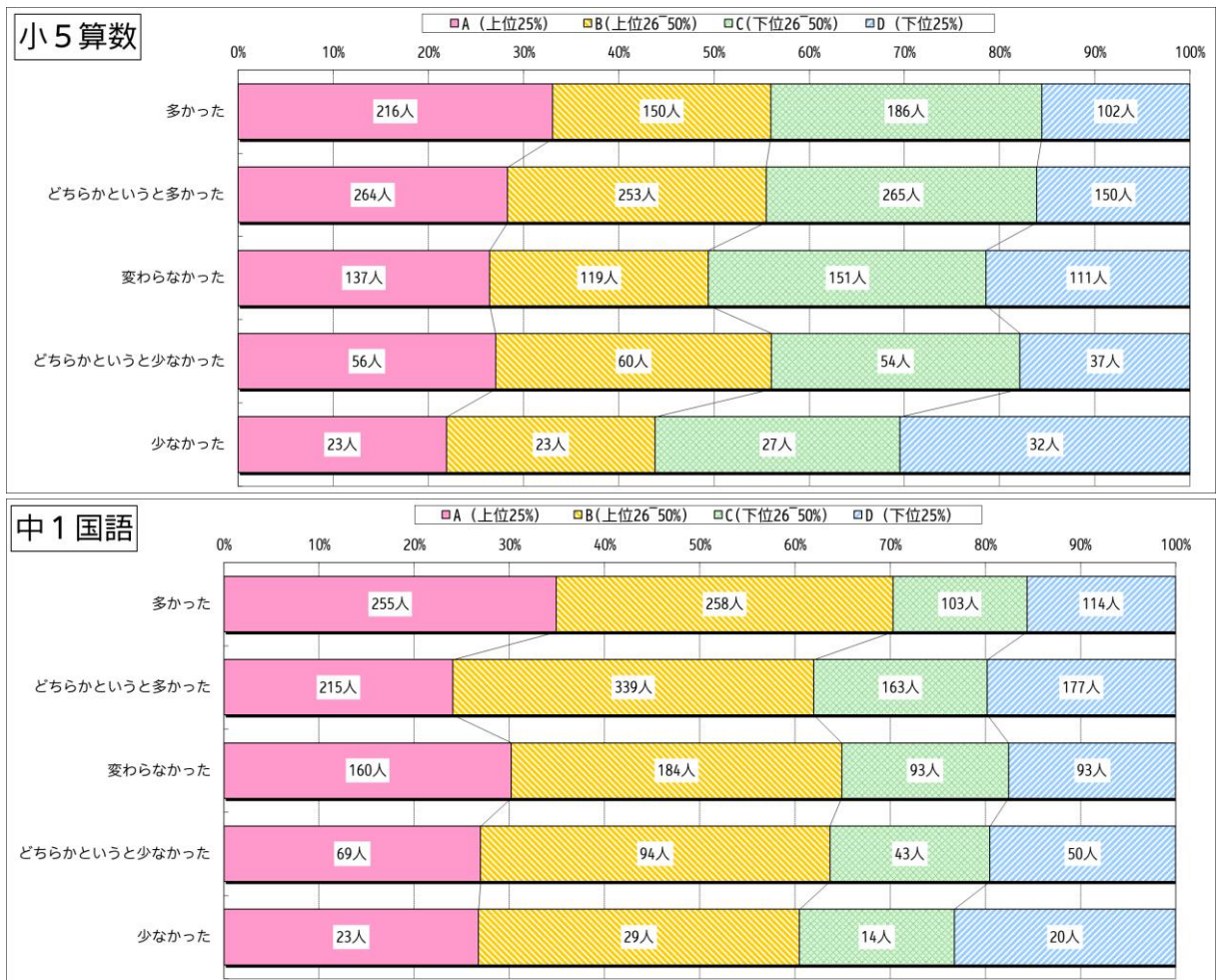
「自分によいところがある」、「先生に自分のよいところを認められている」と思っている児童生徒ほど学力が高い傾向にある。

学級経営において、教師が積極的に児童生徒のよいところをほめることや、児童生徒同士が互いのよさを認め、高め合う雰囲気醸成することによって、達成感を得たり、自己肯定感を高めたりするようにしていく。

③ 「【問】課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをしっかりとるようになったこと」とのクロス集計



④ 「【問】グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したことはどのくらいありましたか」とのクロス集計

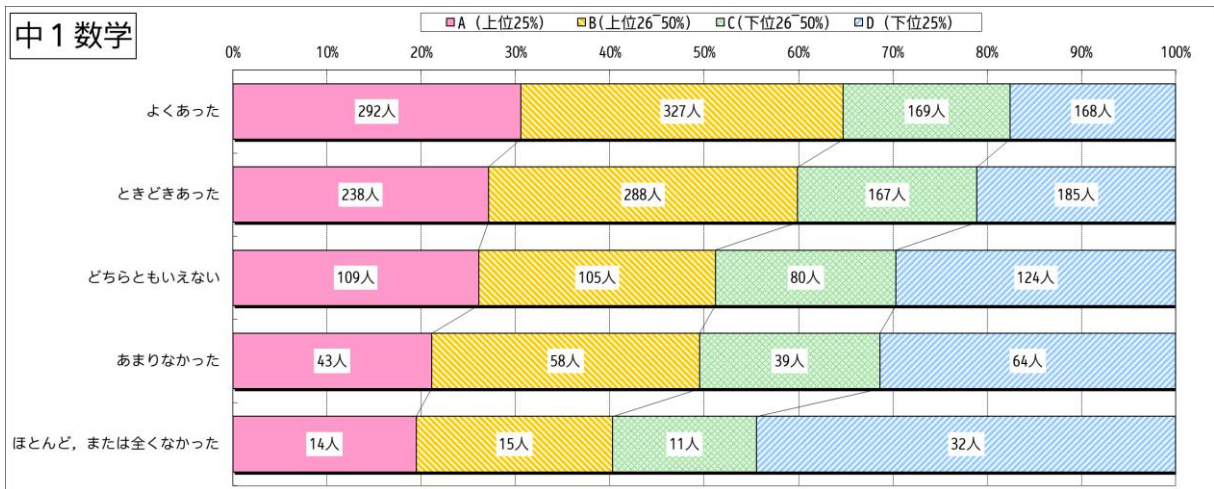
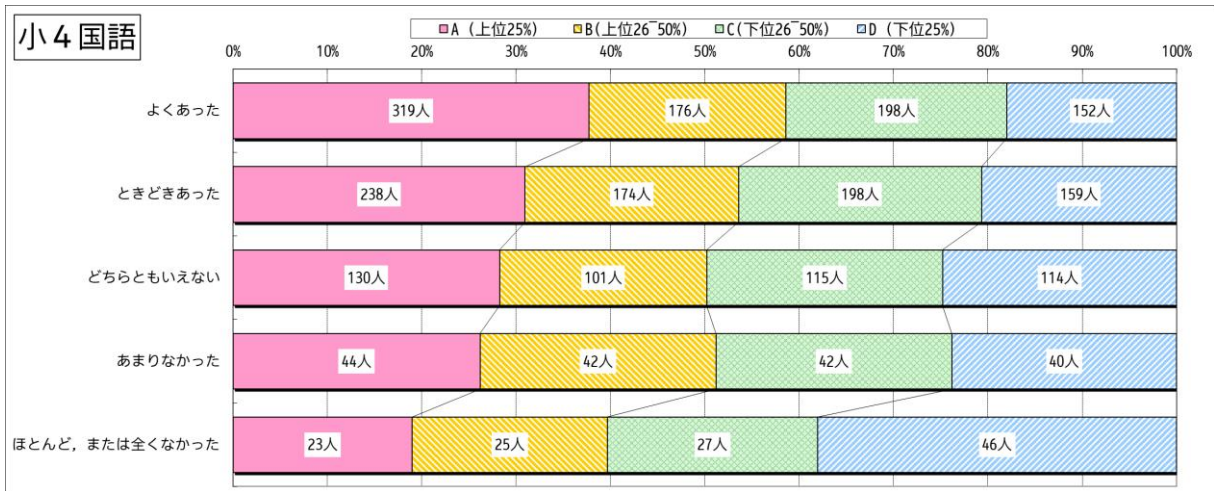


**【授業等改善のポイント】**

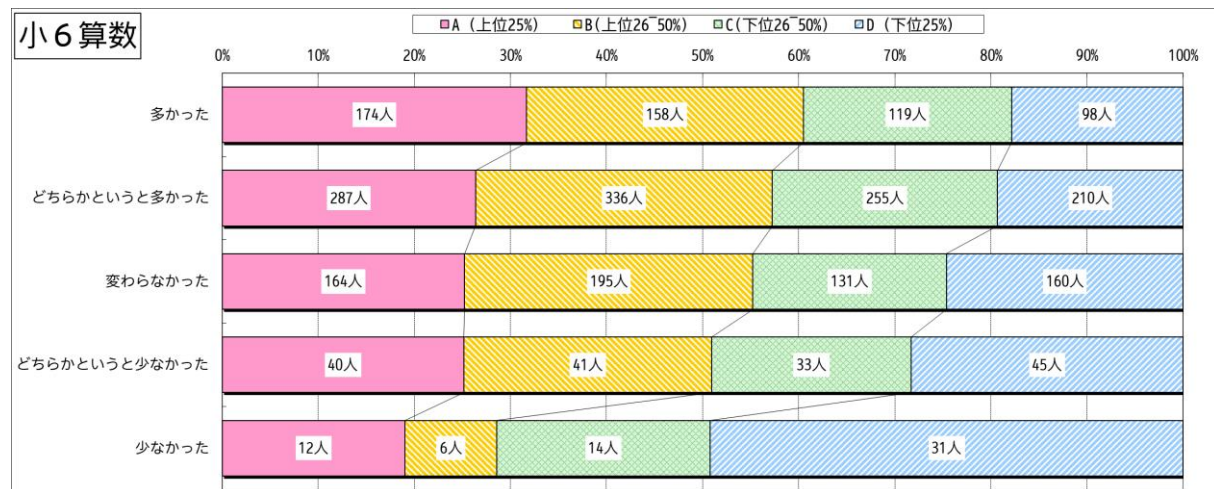
「話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをしっかりとるようになった」と考えている児童生徒や「グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと」が多かったと感じている児童生徒ほど学力が高い傾向にある。

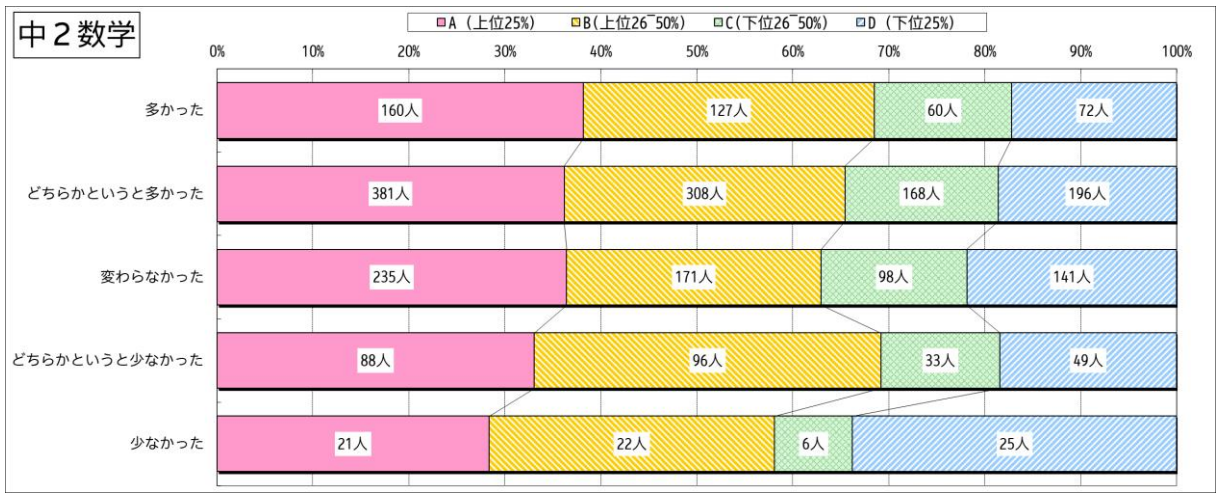
今後も、他者との交流を通して自らの思いや考えを広げたり、深めたりする機会をすべての児童生徒に保障していく。

⑤ 【問】「授業の終わりに、授業で学んだことをふり振り返り、自分がわかったことやわからなかったことを自覚したことがどれくらいありましたか」とのクロス集計



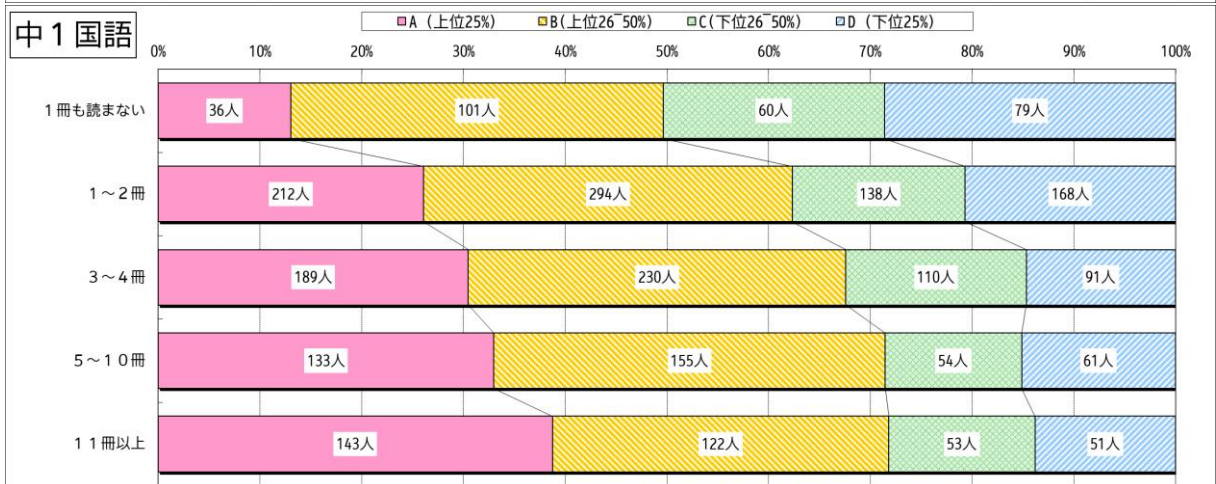
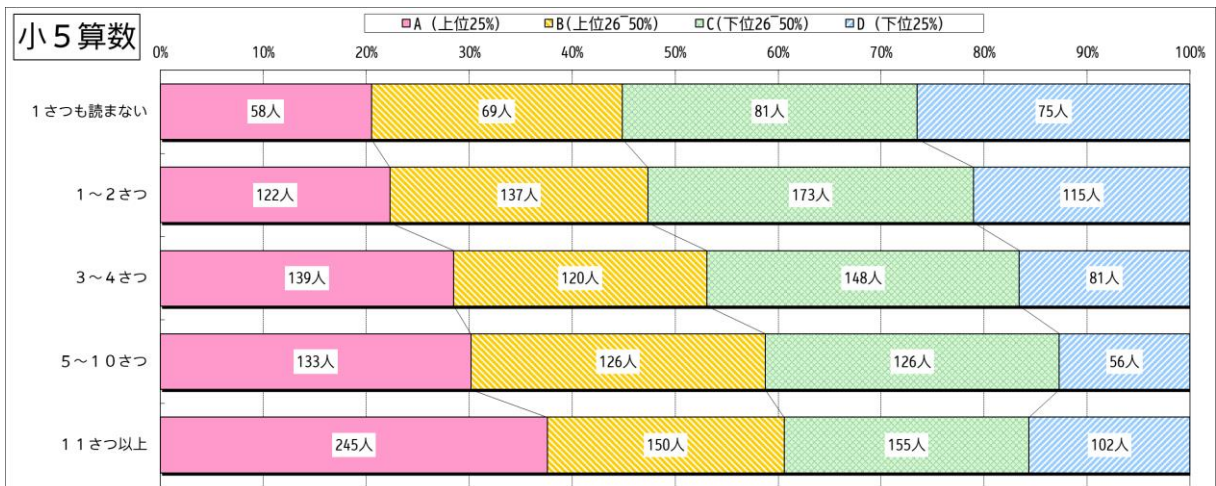
⑥ 「【問】(前の学年で) 学習した内容を授業の中で確かめたり、復習したりする場面がどれくらいありましたか」とのクロス集計





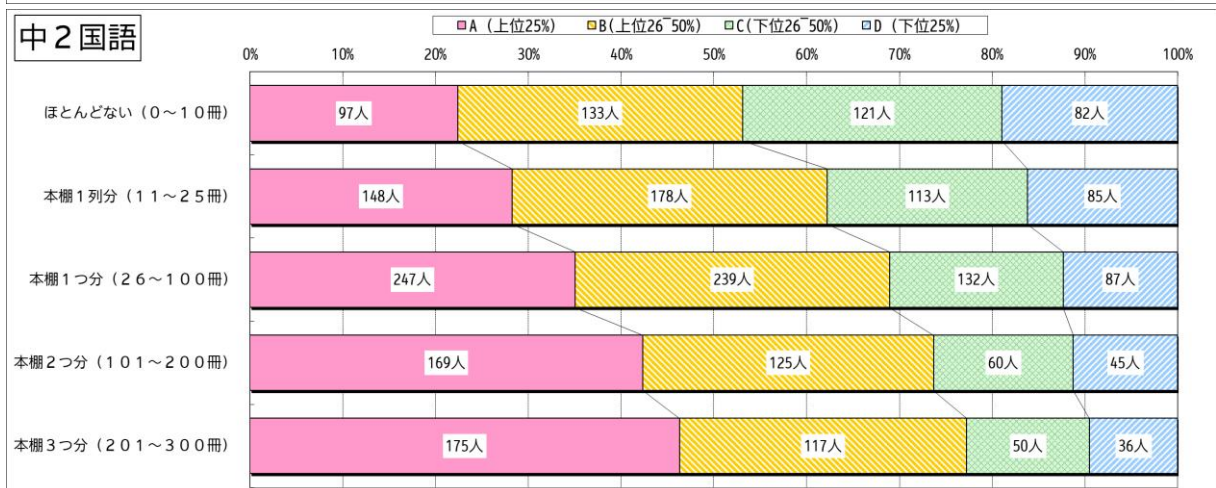
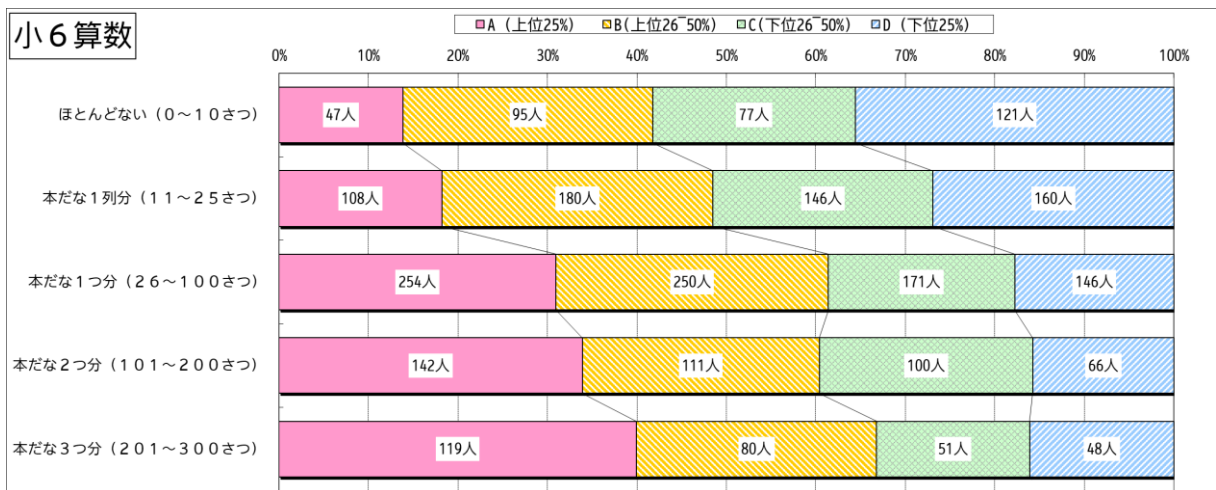
**【授業等改善のポイント】**  
 学習内容を振り返って何ができて何ができなかったかを確認することで学力が向上する傾向がある。  
 自分の言葉でまとめる時間の確保や自己評価・相互評価の活用等を通して、充実感や達成感などの学びの手応えを児童生徒に感じさせ、新たな学びに目を向けることができるように「まとめ・振り返り」の場を設定していく。

⑦「【問】 1か月に、何冊くらいの本を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）」とのクロス集計





⑧ 「【問】 家には、自分や家の人が読む本がどれくらいありますか」とのクロス集計



**【授業等改善のポイント】**

読書量が多い児童生徒ほど学力が高い傾向がある。

児童生徒が読書に親しむことができるよう、学校図書館長である校長のリーダーシップのもと、司書教諭、学校図書館担当教員、学校司書を中心に、学校における読書活動の充実を図る。また、各家庭と連携し、家庭での読書機会の確保や地域の図書館の活用、親子読書の推進などに努めていく。

(4) 各学校における改善策等

- ① 各学校では、本市の結果分析の他、自校の正答率、学力を伸ばした児童生徒の割合、児童生徒質問紙調査の回答と学力階層との相関関係など、より詳細な分析を通して、「基礎学力向上プラン」の見直しや日常の授業改善を図り、児童生徒一人一人の学力の向上に努めている。  
また、児童生徒に配付される個人結果票の「学習に関するアドバイス」や「教科の領域別正答率」などを活用し、正答率の高い領域をさらに伸ばしたり正答率の低い領域を克服したりするための指導を行っている。その際、平均点や他の児童生徒と比較するのが重要ではなく、自分の学力がどれだけ伸びているのかを知ることが重要であることを伝えている。
- ② 11月7日に開催された「第2回郡山市学力向上支援事業全体会議」において、令和4年度調査において学力の伸びが大きかった学校の実践等について共有し、中学校区で協議することにより、小中学校が連携して指導方法の改善に役立っている。

【個人結果票のイメージ】

**質問紙調査の結果 ～規律ある態度の達成目標～**

「規律ある態度」を身に付けることで...

●集中して授業に取り組めるようになり、授業がよくわかるようになります。  
●ルールやマナーが身に付き、学校の活動がもっと楽しくなります。  
●自分も周りの人も、気持ちよく生活できるようになります。

**達成目標とどの達成状況**

達成目標	R3
1 時刻を守る	登下校時刻を守る事ができていますか *
2 身の回りの整理整頓	授業や活動の始まる時刻を守る事ができていますか *
3 進んで取り組む	机の上や机の中、身の回りの整理整頓を心がけていますか *
4 進んで取り組む	だれに押しも通らない姿勢を心がけていますか *
5 進んで取り組む	名前を呼ばれたら「はい」ははっきり返事をすることができていますか *
6 進んで取り組む	隣やそばにいた適切な言葉づかいができていますか *
7 進んで取り組む	先生の話をしっかりと聞き、自分の考えを伝える事ができていますか *
8 進んで取り組む	先生の話をしっかりと聞き、自分の考えを伝える事ができていますか *
9 進んで取り組む	先生の話をしっかりと聞き、自分の考えを伝える事ができていますか *
10 進んで取り組む	先生の話をしっかりと聞き、自分の考えを伝える事ができていますか *

**ご家庭へのメッセージ**

ご家庭で一人一人の力を確実に伸ばすためには...

ご家庭では調査の結果を見て、お子さんの「よいところ」、「努力が必要なるところ」を把握し、一人一人のお子さんに合った「目標設定」をし、「家庭学習の習慣化」を図ることが効果的です。

また、お子さんと、「時間を守る」、「あいさつをする」など、ルールやマナーを守ることの大切さについて、あらためて話し合い、確認することが重要です。

お子さんのやる気を高めるには、調査の結果を見て、よかったところや伸びたところをほめて、お子さんたちに自信を持たせると効果的です。

自由記述らん

4ページ

**令和3年度 ふくしま学力調査 個人結果票 [中学校1年生]**

学校名 ○○中学校 個人番号

**ふくしま学力調査を通して**

小・中学校の成績は、学力の「確かな学力」、「豊かな学び」、「豊かな心」を育む大切な指標です。お子さんの成績は、「確かな学力」、「豊かな学び」、「豊かな心」を育む大切な指標です。私たちは、お子さんの学力の伸びを、「どの教科で伸びたか」を把握し、指導に活かすことと大切に考えています。そして、得意を持ったお子さんだけが、自分から伸びる。自分のよさを活かしていけるよう指導を盛りに考えています。

**教科に関する調査結果(2～3ページ)の見方**

この調査では、各学年における学力のレベルがわかります。レベルが上がると問題の難しさを解く力があります。過去の結果と比べると、「学力の伸び」を確認できます。

今年度の調査で測定したあなたの学力のレベル

小学6年生からあなたの学力の変化

令和2年度の調査で測定したあなたの学力のレベル

平成31年度の調査で測定したあなたの学力のレベル

**それぞれの学力のレベルで正解できる問題の例**

レベル	国語	数学
レベル10	国語の教科書に掲載されている文章を読み、文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。	「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。
レベル9	文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。	文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。
レベル8	文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。	文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。
レベル7	文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。	文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。
レベル6	文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。	文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。
レベル5	文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。	文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。
レベル4	文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。	文中の「ある部分」について自分の意見や感想を述べ、自分の考えや態度を表現する。

**学習に関するアドバイス**

今回の学力の状況や、今後、どのような学習をすれば、あなたの学力が上がるのかを記載しています。

※ 上記で示す学力は、この調査で測定したものであり、お子さんの学力のすべてではありません。

1ページ

**国語** **教科に関する調査結果**

**今までの学力の変化**

あなたは、「レベル8」の学力があります。

**学習に関するアドバイス**

昨年度この調査を受けていないため、昨年度からの学力の伸びはわかりませんが、あなたは「レベル8」の学力があります。日々の授業に大いに、積極的に学習に取り組んでいきたいと思います。また、生活の中で積極的に読書をする習慣を身に付けてほしいと思います。また、生活の中で積極的に読書をする習慣を身に付けてほしいと思います。

**教科の領域別正答率**

教科	11	12	13	14	15
国語	11	13	14.8	11.2	11.2
数学	2	5	40.0	51.5	51.5
英語	1	4	25.0	50.1	50.1
理科	5	8	62.5	62.1	62.1

**県全体の正答率分布**

あなたの正答率は、県全体の正答率分布の 〇 に含まれています。

2ページ

**数学**

**今までの学力の変化**

あなたは、「レベル8」の学力があります。

**学習に関するアドバイス**

昨年度この調査を受けていないため、昨年度からの学力の伸びはわかりませんが、あなたは「レベル8」の学力があります。日々の授業に大いに、積極的に学習に取り組んでいきたいと思います。また、生活の中で積極的に読書をする習慣を身に付けてほしいと思います。また、生活の中で積極的に読書をする習慣を身に付けてほしいと思います。

**教科の領域別正答率**

教科	11	12	13	14	15
国語	11	13	14.8	11.2	11.2
数学	5	8	62.5	51.1	51.1
英語	1	4	25.0	50.1	50.1
理科	5	8	62.5	62.2	62.2

**県全体の正答率分布**

あなたの正答率は、県全体の正答率分布の 〇 に含まれています。

3ページ

\* 令和4年11月22日に、福島県教育委員会が、分析報告書【概要版】(学力の伸びの状況、質問紙調査の結果等)を公表している。